

SEIKATSUKA

受賞作品 | 生活科部門

〈総評〉

本年度は、応募総数はやや減少したものの、研究の内容は幅広く、独創的でユニークな作品が多くみられました。テーマとしては、自然観察を継続的行った研究が多く見られ、自然への深い関心や意欲が伺えました。全体的なレベルは高く、受賞作品以外でも、研究の目的、工夫した点や苦労した点、新たな発見や気づき、成功した点や反省点、次に向けての課題といったポイントがしっかりと押さえられた、良質な作品が多くあり好感が持てました。

反面、感想だけで終えてしまっている作品も多くあり、大変もったいないと感じています。生活科部門は特に、研究の幅が広く、自由度の高い部門です。「楽しかった」「おもしろかった」だけでなく、更なる疑問への追求や、制作を通じて得た物事についてまとめると、作品の一体感が増し、より良い作品が増えていくでしょう。当作品コンクールを通して、子ども達の成長を願っています。



文部科学大臣賞

**みんなをまもるんだ！
ぼくのまちのAEDちず**

富山県 氷見市立比美乃江小学校 1年
山口 斗空



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

魔女になるための研究

千葉県 市川市立北方小学校 1年
吉田 光



全国小学校生活科・総合的な学習 教育研究協議会 会長賞

たまごで元気

東京都 白百合学園小学校 2年
桑原 喜歩子



中央出版株式会社社長賞

空のカラーハンティング

神奈川県 茅ヶ崎市立浜須賀小学校 2年
原田 あさひ



優秀賞

アゲハチョウのふしぎ

東京都 白百合学園小学校 2年
高松 優里子

いろいろな動物の狒犬たいけん！！

東京都 杉並区立天沼小学校 2年
新井 美紗貴

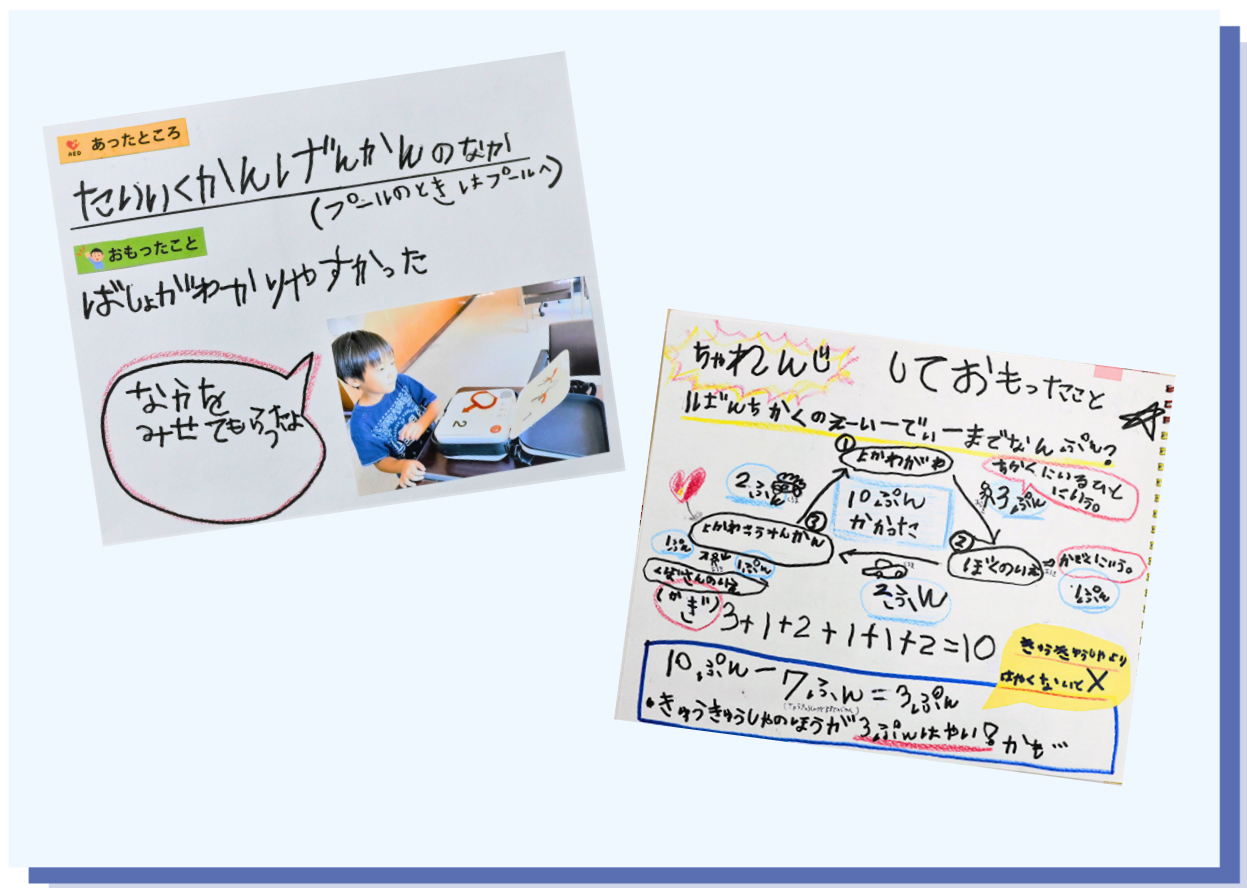
カブト虫大研究

東京都 世田谷区立多聞小学校 2年
芳原 琢斗

文部科学大臣賞

みんなをまもるんだ！ ぼくのまちのAEDちず

山口 斗空 | 富山県 氷見市立比美乃江小学校 1年



〈選考理由〉

夏休みに川の事故をニュースで知り、立ち上がった斗空さん。自分ができることはなんだろうと考えた斗空さんは、夏休み期間を利用してあらゆる場所へ足を運び、AEDについて研究をしました。公民館、バス停、小学校やスーパーなど、生活圏内を中心に実地調査を行った場所は20か所以上。また、実際に消防隊員の方々へ「きになること」5点についてのインタビューを行うなど、斗空さんのバイタリティ溢れる、超大作となっています。調べて分かったことに対して、さらに疑問を持って掘り下げ、考察している点も好印象でした。実際にAEDがある場所に行くのにどれくらいの時間がかかるのか、救急車を呼んだほうが早いのかなど、現実的な視点で詳しく調べられており、説得力のある作品になっています。そして、何より斗空さん自身が心から興味をもって研究に取り組んでいる様子が伝わる作品になっていることが高評価につながりました。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

魔女になるための研究

吉田 光 | 千葉県 市川市立北方小学校 1年



〈選考理由〉

魔女が大好きという光さん。この研究は、そんな光さんの魔女への熱い想いが詰まった、131ページにおよぶ超大作です。「どうしたら魔女になれるんだろう？」という疑問を明らかにするために光さんがとった方法は、魔女に関することすべてを試す調査でした。その行動力には驚かされるばかりですが、集まった膨大な情報をまとめる力も素晴らしいです。ただ調べるだけではなく、魔女の料理や道具を実際に道具を作って試し、レポートにまとめた力作になっています。調理方法や道具の制作過程が、写真や絵を使って丁寧に記述されており、光さんが楽しく調査している様子が伝わってきました。特に、笹と長い棒を使った手作りのほうきはとても素敵でした。調理や道具制作を陰で支援して下さった保護者の努力も垣間見えます。数多くの魔女が登場する作品が収められた絵本や児童書、映画などにも考察の範囲を広げられたのも圧巻です。そして一番目を引いたのは最後のまとめです。いいことだけでなく、達成できなかったこと、楽しかったこと、大変だったこと、学んだことなど光さんの所感がいきいきと述べられており、一生懸命に能動的に取り組んでいたことがうかがえました。これからもっといろんな不思議を探究して素敵な魔女になってください。

全国小学校生活科・総合的な学習教育
研究協議会 会長賞

たまごで元気

桑原 喜歩子 | 東京都 白百合学園小学校 2年



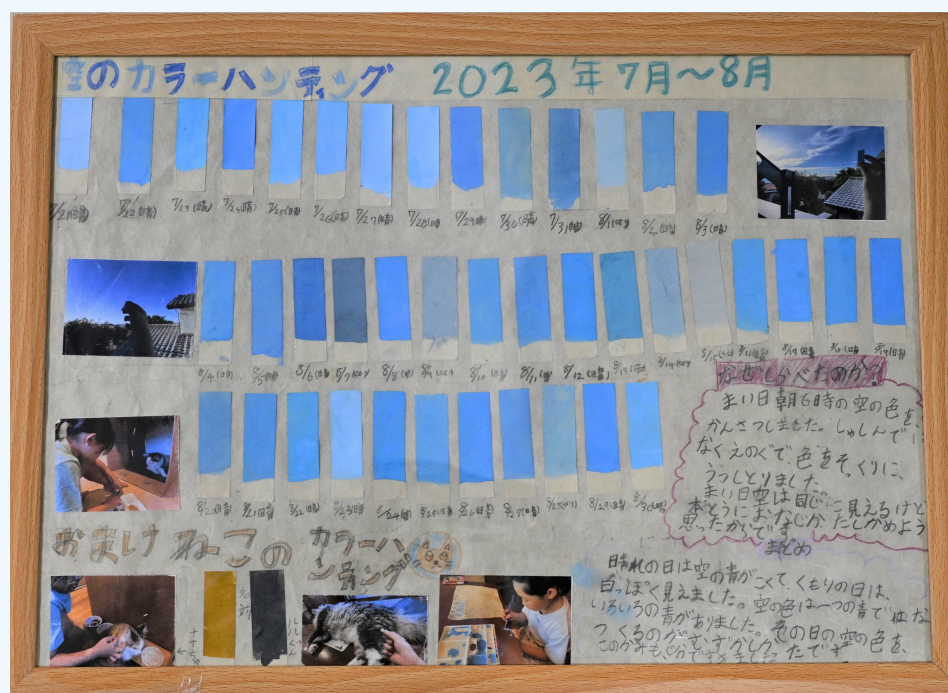
〈選考理由〉

卵が体にいいことを知り、「体にいい卵ってどんなものなのかな?」「スーパーにはいろんな卵が売っているけどほかの家庭では卵を食べているのかな」と不思議に思った喜歩子さんは調べてみることにしました。スーパーでいろんな方にインタビューをしたり本やインターネットで卵の栄養素を調べたり、卵博士の矢田さんに話を聞きに行ったり、時間をかけて丁寧に取材・研究を重ねていることが分かります。とても時間と根気が必要の研究だったと思いますが、楽しんで取り組んでいる様子が伝わってきます。一つのテーマに対して、実に多角的なアプローチで研究されており、喜歩子さんの好奇心と探求心の強さが感じられます。内容もさることながら、まとめ方に関しても写真や色紙、絵の使い方がとても工夫されていて、読みやすさと華やかさに溢れた作品になっています。目玉焼きやゆで卵を作る過程についても、どれくらいの時間がかかるのが実際に時間を計り、卵の栄養について深掘りして研究されており、喜歩子さんが心から興味を持って取り組んでいることが伺えました。これからも、夢中になれることにどんどん挑戦してってください。

中央出版株式会社 社長賞

空のカラーハンティング

原田 あさひ | 神奈川県 茅ヶ崎市立浜須賀小学校 2年



〈選考理由〉

夏休みを使って、空の色を調査したあさひさん。「空は同じに見えるけど本当は同じなの？」と興味を持ったあさひさんは、写真ではなく空の色を絵具でそっくり再現し毎朝6時の空の色を記録し始めました。計41日に渡って空のカラーハンティングを行いまとめた超大作です。調査をする中で、空の色は一つではなく、晴れの日が青が濃く、曇りの日は白く見えることが知ったあさひさんは、空の色に近づくために、青色や白色を組み合わせ忠実に毎日記録をしました。紙に関してもあさひさん自身がすいて作り、こだわりをもって作成した作品になっています。とても時間と根気が必要の研究だったと思いますが、あさひさんが楽しんで取り組んでいる様子が伝わってきます。今後も好奇心を持ち続け、身近な「どうして？」に挑み続けていってください。